



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 クボテック株式会社
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	735	52.6	130		138		110	
2020年3月期第3四半期	1,550	13.4	16		8		6	93.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 109百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 4百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	8.05	
2020年3月期第3四半期	0.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	2,687	1,111	41.4	80.76
2020年3月期	2,799	1,221	43.6	88.69

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,111百万円 2020年3月期 1,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	54.8	240		250		230		16.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付書類7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	13,830,000 株	2020年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	62,159 株	2020年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	13,767,841 株	2020年3月期3Q	13,767,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	9
(継続企業の前提に関する重要事象等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の動きが見られるなど、先行きの不透明感が根強く残りました。フラットパネルディスプレイ (FPD) の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資が慎重な動きで推移し、厳しい受注環境が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、品質や採算を重視しつつ、受注の確保に注力してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による投資需要の低迷などにより、大幅な減収となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高735百万円（前年同四半期比52.6%減）、営業損失130百万円（前年同四半期は営業利益16百万円）、経常損失138百万円（前年同四半期は経常利益8百万円）となり、特許和解金27百万円などを特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は110百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益6百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が大幅に減少しました。この結果、売上高は406百万円（前年同四半期比64.6%減）、セグメント損失は74百万円（前年同四半期はセグメント利益88百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は289百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント損失は22百万円（前年同四半期はセグメント損失65百万円）となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は38百万円（前年同四半期比61.0%減）、セグメント損失は27百万円（前年同四半期はセグメント損失29百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の増加39百万円、売上債権の減少150百万円などにより、101百万円減少しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少しました。流動負債は短期借入金の増加239百万円などにより、253百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少244百万円などにより、256百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失110百万円の計上などにより、純資産合計が109百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが依然不透明であることから、現時点においても合理的な算定は困難な状況であり、2020年10月30日発表の連結業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,875,636	1,915,267
受取手形及び売掛金	499,373	397,401
電子記録債権	60,429	11,832
商品及び製品	12,484	5,037
仕掛品	105,452	107,854
原材料及び貯蔵品	40,812	51,978
その他	16,049	19,415
貸倒引当金	△24,403	△24,163
流動資産合計	2,585,833	2,484,623
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	7,962	6,160
有形固定資産合計	7,962	6,160
無形固定資産		
ソフトウェア	179,815	167,208
その他	0	0
無形固定資産合計	179,815	167,208
投資その他の資産		
繰延税金資産	705	675
その他	25,524	28,792
貸倒引当金	△196	△196
投資その他の資産合計	26,034	29,271
固定資産合計	213,811	202,640
資産合計	2,799,645	2,687,264
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,619	79,365
短期借入金	579,424	819,275
未払法人税等	6,407	4,736
前受金	225,388	218,516
賞与引当金	3,840	1,600
その他	156,046	131,253
流動負債合計	1,001,726	1,254,748
固定負債		
長期借入金	522,440	278,335
繰延税金負債	2,274	1,061
退職給付に係る負債	46,776	37,347
その他	5,295	3,852
固定負債合計	576,786	320,596
負債合計	1,578,512	1,575,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△677,722	△788,509
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,192,310	1,081,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	940
為替換算調整勘定	28,822	29,455
その他の包括利益累計額合計	28,822	30,396
純資産合計	1,221,133	1,111,919
負債純資産合計	2,799,645	2,687,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	1,550,972	735,597
売上原価	970,216	440,496
売上総利益	580,756	295,101
販売費及び一般管理費	564,569	425,847
営業利益又は営業損失(△)	16,186	△130,746
営業外収益		
受取利息	300	193
受取配当金	188	302
貯蔵品売却益	192	-
その他	69	84
営業外収益合計	750	579
営業外費用		
支払利息	8,117	6,041
為替差損	575	1,889
その他	12	164
営業外費用合計	8,705	8,095
経常利益又は経常損失(△)	8,231	△138,261
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,432
関係会社清算益	1,483	-
特許和解金	-	27,272
特別利益合計	1,483	28,704
特別損失		
特別退職金	1,456	-
特別損失合計	1,456	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,258	△109,556
法人税等	1,748	1,230
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,509	△110,787
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	6,509	△110,787

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,509	△110,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,033	940
為替換算調整勘定	△10,349	632
その他の包括利益合計	△11,382	1,573
四半期包括利益	△4,872	△109,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,872	△109,213
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」という。）に伴う当社グループへの直接的な影響は、主に本感染症による外出自粛等に伴う当社グループの営業活動の制限や取引先の投資需要の低迷などによる売上減少であります。一方で、本感染症が一般的な経済活動や事業環境に及ぼす影響は、広範かつ多岐にわたると考えられ、また、その今後の広がり方や収束時期等を含め、当社グループへの影響を将来にわたって定量的に予想することは極めて困難であります。

したがって、当社グループは、2021年3月期中は当該影響が継続するものとの仮定を前提とし、当社グループが現時点で把握できる最新の情報等を踏まえて、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の収束時期等の変動によって、当社グループの財政状態並びに経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,150,696	300,200	100,074	1,550,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	175,271	—	14,326	189,597
計	1,325,968	300,200	114,401	1,740,570
セグメント利益又は損失(△)	88,190	△65,523	△29,787	△7,120

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△7,120
セグメント間取引消去	3,956
内部利益の調整額	△4,706
貸倒引当金の調整額	24,056
四半期連結損益計算書の営業利益	16,186

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	406,938	289,677	38,981	735,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	155,808	—	15,072	170,880
計	562,746	289,677	54,053	906,477
セグメント損失(△)	△74,907	△22,903	△27,724	△125,535

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△125,535
セグメント間取引消去	3,804
内部利益の調整額	4,466
貸倒引当金の調整額	△13,481
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△130,746

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して営業損失を計上し、また受注残高が著しく減少しておりました。特定の市場・顧客の設備投資及び特定の顧客からの受注動向によって、業績の変動が避けられず継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。当第3四半期連結累計期間においても営業損失を計上し、厳しい受注環境が続いていることから、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するため事業構造の改革に取り組んでおり、重要な資金繰り懸念もないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、次のとおりであります。

画像処理外観検査装置においては、特定の市場や顧客の設備投資動向、受注に依存するこれまでの状況から、機能性フィルムや次世代パネル検査装置などの品質や採算を重視した市場、製品を収益の柱とする事業への転換を進めております。

3Dソリューションシステムにおいては、当社エンジンを採用した3次元比較検証ソフトウェアなど新製品や、メディアネット機器では、市場ニーズの高い放送局向けなどにHEVCを採用した映像伝送装置の販売拡大に注力しています。

生産に関しては工場を統廃合し業務の効率化を図り、また人件費など固定費を削減することで、財務体質の強化を進めております。

さらに新規事業として次世代フライホイールを用いた大出力発電装置やオーディオ事業の早期事業化を推進してまいります。